

生涯学習センター創立40周年に寄せて

石川県知事 谷本正憲



石川県立生涯学習センターは、この度創立40周年を迎えました。当センターは、昭和41年5月、全国に先駆け本多町の社会教育会館内に社会教育・生涯学習の拠点施設「石川県立社会教育センター」としてオープンしました。以来、平成2年に県民大学校を開校し、11年には同大学院「石川の博士養成講座」を開講するなど、広く県民に生涯学習の機会を提供するとともに指導者の研修や生涯学習情報の提供に努めてまいりました。

また、平成15年5月には、能登地区の生涯学習機会の充実を担って能登空港ビル内に能登分室を設置し、県民大学校能登校を開校いたしました。さらに、同年7月には旧県庁跡地の広坂に移転、「石川県立生涯学習センター」と改称し、県民の生涯学習の場として、新たなスタートを切りました。

近年、生涯を通じて「学ぶ」ことがますます重要な意味を持つとともに、学習成果を生かし積極的に社会参加することが求められている中、平成16年3月、本県では「学びと出会いが創る輝かしいかわの人と風土」を基本理念とする「石川県生涯学習振興ビジョン」を策定しました。この構想に基づき、当センターでも「県民企画講座」や「生涯学習コーディネーター養成講座」などを新たに開講する一方、社会教育関係団体を含む民間と役割分担をしながら連携・協働を図り、めざす石川の生涯学習社会の実現に努めています。

当センターは、広坂に移転後すでに25万人の県民の皆様にご利用され、今後とも生涯学習の中核的施設として一層発展することが望まれます。また、心豊かで創造力のある人づくりを通じ豊かな生涯学習社会の実現に向け、当センターが創立40周年を機に、更なる生涯学習事業や、指導者の養成の充実などに努め、これまで以上に多くの県民の皆様方にご活用いただける学びの場となりますようお願いいたします。

40周年特集

センターの役割と展望

○生涯学習の拠点として 当センターは、昭和41年に石川県立社会教育センターとして発足し、本年40周年の節目を迎える。当初より、著名講師を招いた講演会、各種の文化・教養講座等多様な事業を展開してきた。平成2年、県内での様々な生涯学習の機会を体系的・広域的に県民に提供するために県民大学校が開校し、平成11年には大学院が設置された。しかしながら、近年、諸改革が進む中、当センターもそのあり方や事業内容の見直しが必要とされている。

○問われる県の生涯学習事業 県内各市町における生涯学習施設の整備が進むにつれて、従来からの公民館での活動に加え、地域住民に対する文化的事業の充実が進み、県として行うべき生涯学習事業とは何かが問われている。また、多方面で「官から民」への流れが進む中で、生涯学習の分野においても官と民との役割の調整が必要となっている。

○ビジョンのもとに 平成16年3月に策定された「石川県生涯学習振興ビジョン」には、学習成果を生かした社会参加と評価が振興方針の一つとしてあげられている。当センターでは、これに応じて平成17年より、県民が生涯学習やボランティア活動で培った成果を自ら講師となって発表する「県民企画講座」を実施している。また、今年度は当センターの生涯学習情報センター内に「マナビィコーナー」を設け、県民の学習成果を展示する「県民企画展示」を実施する。このように県民の生涯学習への意欲を喚起し、今年度は団塊の世代等の青壮年層を対象に「生涯学習コーディネーター養成講座」を開講し、地域活動、青少年育成、ボランティアなどに積極的に取り組む人材育成を図りたい。また、「生涯学習情報提供システム（あいあいネット）」を一層活用してもらい、県民に対するインターネットを通じた情報提供を活性化させたい。

○連携と協働 県立の施設として国・市町そして民間の各種機関と連携して、県民のニーズに応えた良質な生涯学習機会を広域に提供し、先導的な生涯学習講座を実施することで、生涯にわたる「学び」の気運を醸成するとともに、現代的課題に積極的に取り組む人材を育成することが、これからの石川県立生涯学習センターに課せられた使命といえる。



親子パソコン教室

伝統文化と日韓交流

大村松雄氏
(石川県音楽文化協会理事長)



石川県音楽文化協会は、子どもたちに平成16年度より音楽一般、殊に伝統芸能の体験を呼びかけ、各種にわたってその裾野を広げています。

古代中国儒教の創始者孔子は中国琴を好んで弾き、爾来君子の修行楽器としての瑟(しつ)は25弦琴までに改良されました。ある時君子は琴(きん)と瑟の姉妹二人に楽器を二つに割って仲よく弾くように分け与えたという説があります。13弦琴は日本で、12弦琴は韓国で伽邪琴(かやごと)として発展し開花しています。

平成17年、県立生涯学習センターで育っている体験教室の石川邦楽児童合唱団と金沢児童合唱団を率いて韓国の姉妹都市全州市を訪問し、舞台上で「琴瑟相和す」の諺も引用して琴楽器の由来を説明したところ、客席総立ちのスタンディング・オベーションとなり、「百済(くだら)や新羅(しらぎ)を経て日本に伝わった文化がしっかりと実を結んでいる」と大喝采でした。

このようにして、県立生涯学習センターで育っている子ども体験教室の一行が、十分にチビッコ民間外交の任を果たして帰朝したことをご報告しておきます。

生涯学習センター新規講座

◇生涯学習コーディネーター養成講座Ⅰ・Ⅱ

Ⅰでは学習成果を生かし、生きがいづくり、仲間づくり、地域における課題やボランティア活動に取り組もうとされる方を対象として、コーディネーターとしての基本的な知識の習得を目指します。

Ⅱでは昨年までのシニアライフコーディネーター講座修了者を対象として、より実践的な知識や技能の習得を目指します。Ⅰ・Ⅱの詳細は7月下旬にチラシ等でご案内します。

◇地域連携講座「生涯学習まちづくりふるさと講座」開催地：七尾市

ふるさとを知り、地域を見つめ、自分たちの住むまちを自分たちでよくするための講座です。七尾市で開催されます。日 程：①平成18年 8月29日(火) 13:30～15:30「暮らしの法とまちづくり」

②平成18年10月17日(火) 13:30～15:30「能登の歴史とまちづくり」

③平成19年 1月16日(火) 13:30～15:30「石川の方言とまちづくり」

会 場：①は七尾サンライフプラザ、②③は七尾市役所中島支所

講師の会【ひろさか緑陰講座】立ち上げ！ 会場：センター3階31号室

「いしかわ生涯学習講師の会」(県民大学校大学院「石川の博士」養成講座修了生の有志の会)では、今回新たに「ひろさか緑陰講座」(県民大学校教養講座)を立ち上げました。木曜日開催で時間はいずれも午前10:00～11:10です。受講をお待ちしております。お気軽にどうぞ。

- ① 6月8日(木)三宅 隆「障害人生のロマン」
- ② 7月13日(木)若狭 武「合併自治体の町づくり」
- ③ 8月24日(木)神佐 隆「法隆寺等について」
- ④ 9月14日(木)北村秀明「鶴来町金劔宮の故郷は何処」
- ⑤ 10月12日(木)西本宗之助「現代詩を書いてみよう」
- ⑥ 11月9日(木)山本紀子「人の話を聞くということ」

県民企画展示コーナー(マナビィコーナー) 情報センターにオープン!

生涯学習情報センター内の「ふるさと学びコーナー」において5月28日(日)まで開催される「伝統工芸 美川刺繍教室作品展」の終了に伴い、この空間を「マナビィコーナー」と改称し、県民の皆さんが展示物やポスター発表を企画し、気軽に生涯学習の成果をアピールする「県民企画展示」の場として無料で提供することになりました。ぜひご利用下さい。

- ご利用は、個人・団体を問いません。貸出は無料です。
- 利用期間は2週間～1か月(4週間)が基本です(2週間未満応相談)。
- 展示スペースには、展示パネル付テーブル8～10台(スペース中央のドーナツ型テーブルも利用可)があります。
- 展示例……絵画、書道、陶芸、写真、生け花、パッチワーク、パンフラワー、木工品、民芸品、郷土史研究、児童生徒の作品・研究成果、手作り絵本、手作り玩具など。



美川刺繍教室生徒作品